

災害が起こりやすくなる梅雨時期を前に災害対策用機械の取り扱い訓練を行いました。

平成27年5月14日

四国地方整備局が保有する災害対策用機械の取り扱い訓練を5月14日に四国技術事務所構内で行いました。

この訓練は、地整内だけでなく香川・徳島県内の地方自治体や、災害発生時に協力してもらう建設会社に広く参加を呼びかけて開催しています。

今回の訓練参加者は、地方自治体職員2名、建設会社から30名、地整職員54名の合計86名でした。



訓練参加者 集合



訓練会場全景

訓練対象機械は、照明車、対策本部車、待機支援車、遠隔操縦式バックホウ、土のう造成機、標識車、衛星通信車、可搬型衛星通信装置の8種類です。



照明車設営訓練



遠隔操縦式バックホウ操作訓練



対策本部車設営訓練



土のう造成機による土のう作り訓練

参加者からは、「今年は、異常に早い時期から台風が来襲しており気を引き締めて訓練に望んだ。」「訓練中に雨が降り出す中での作業となり本番さながらの緊迫感のある訓練になった。」との声があり、災害発生時の迅速な対応に寄与できる訓練になりました。